

HOC

八戸卸センター会報

vol.29

平成29年12月発行



夕日に染まる第一物流センター
西に沈む太陽が団地内を赤く染め上げる。
(平成29年9月撮影)

- 第28回 納涼会開催
- 夏休み家族交流会 開催
- 救急教室 開催・AED設置事業所マップ
- 卸センター地域環境整備推進懇談会 開催
- トヨタ自動車東日本(株)岩手工場の見学会開催
- 仕事の価値を高める！コストの「見える化」セミナー開催 ほか

第28回 卸センター納涼会実施

地域交流委員会（鴨澤諭委員長／鴨沢塗料株）が企画・運営を担当する「卸センター納涼会」が8月18日（金）に開催され、総勢512名（組合員より494名、関係団体より18名）が参加して楽しい一時を過ごした。

今年の納涼会は、「SHADOW BAR」（八戸市六日町）のマスター岡沼弘泰氏によるフレアショー（ボトルやシェーカーを使ってバーテンダーが曲芸的にカクテルを作るパフォーマンス）や中居食品容器株の中居翔三専務と（株）岩岡の岩岡慎雄取締役を中心とするバンドのライブで大いに盛り上がった。

アトラクションの後、豪華景品をかけた「お楽しみ抽選会」が行われ、コンピューターによる新たな抽選方式で当選番号が発表されると会場から大きな歓声上がり、今年も盛況のうちに閉幕した。



2008年全国フレア・バーテンダー・チャンピオンシップで優勝経験のある岡沼弘泰氏（左・下）によるフレアショーに会場の視線はくぎ付け！できあがったカクテルは争奪戦に…



中居翔三さん（上）のハートフルボイスが会場をやさしく包み込んだ



理事長賞は滝田さん（株橋文）の手に！（賞品はパーミュキュラ無水調理鍋でした）



納涼会を盛り上げた司会の三人
右から川崎さん（第一青果株）、石手洗さん（株吉田産業）、阿部さん（組合事務局）

なつやすみ家族交流会実施

地域交流委員会は、今年で3回目となる「なつやすみ家族交流会」を7月22日（土）に開催し、組合員10社から11組36名（保護者19名・子供17名）が参加した。

大雨の降る中、朝早く集まった参加者たちは、団地を飛び出して近隣の八戸市中央卸売市場、（株）共同物流サービス第2物流センターを見学。その後は、八食センターの「七厘村」で食事しながら交流をはかった。

子供たちは、市場で身近な野菜や果物の流通のしくみを興味深く学んだほか、物流センターでは最新の自動搬送システムやフォークリフト体験に目を輝かせていた。



“せり台”に上がって、せりの方法を教わる



設定したコースを通り、台車を自動搬送するシステム（キーカート）の後をついて歩く



（上）フォークリフトに乗って高所作業者の視線を体験する子供たち

（下）見学会の後、八食センターの新鮮な魚介類に舌鼓を打つ



救急教室 開催

交通安全協会八戸卸センター支部（中居雅博支部長／中居食品容器(株)）では、八戸消防署 尻内分遣所の指導のもと、「救急教室」を9月12日(火)に開催した。

会員企業の従業員が救急対応に関する基本知識と、心臓マッサージ、人工呼吸、AED操作といった一連の救命動作を習得することを目的として実施された。

当日は1回1時間半のカリキュラムを2回実施し、合計で16社から53名（1回目：9社30名、2回目：12社23名）が受講した。

八戸市がホームページ上で公開しているAED設置施設の数には445施設（11月2日現在）にのぼる。近年、人が多く集まる学校や公共施設、商業施設、事業所等を中心に設置が進んでいる。

一方で、救急車出動件数も増加傾向にあり、救急隊員が現場へ到着する時間は拡大傾向にある。このため、いざという時、現場に居合わせた人の救急処置能力の重要性が高まっているという。

当支部では今後も継続的に「救急教室」を開催し、「安心して人が集い、安全に働ける地域」の構築に貢献していく。



座学の様子



実習の様子

AED設置事業所の調査結果



8月に実施した「AED設置事業所」調査によると、交通安全協会八戸卸センター支部管内でAEDを設置している事業所は13ヶ所と3年前調査（団地内のみ）の6ヶ所から倍増したことが分かった。設置事業所は下記マップで黄色の場所にあたり、いずれも営業日・営業時間内であれば緊急時に借用可能となっている。（詳細は組合事務局までお問い合わせください。）



第9回 卸センター地域環境整備推進懇談会 開催

八戸市と組合役員との間で、卸センター地域の環境整備等についての意見交換を目的とする懇談会が8月29日(火)卸センター会館で行われた。年1回開催してきた懇談会は今回で9回目。

組合からの環境整備に関する質問・要望とそれに対する八戸市からの回答は以下の通り。

懇談内容 (八戸市からの回答)

1. 卸センター内の歩道整備について

- ・組合会館が下長小学校児童の一時避難所になっていることを踏まえ、避難経路については来年度より順次歩道修繕を進める。その他、破損や陥没など危険な箇所については都度補修等を行う。

2. 売市・長苗代線(3・3・4号)の整備計画について

- ・今後約10年間は老朽化した新大橋の架け替え事業を優先するため、予算確保は難しい。

3. 卸センター内道路の路盤改良について

- ・今年度までに計画していた幹線道路・サブ幹線道路の路盤改良工事は終了した。
- ・再調査したところ、幹線道路約210m、サブ幹線道路約150mの舗装劣化が判明したため、来年度以降道路改良工事を計画していく。

4. 卸センター内街路灯の補修・整備について

- ・今年度連絡があった不点灯街路灯は、原因調査を行い復旧修繕を終えた。
- ・今後はパトロール報告および皆様からの連絡により随時修繕を行う。
- ・南側外周道路の街路灯は利用者のほとんどが卸センター関係者と思われるため、関係各社に安全運転の周知をお願いしたい。

5. 前田・小田線(3・4・8号)の側溝整備計画について

- ・当路線は、側溝の排水先がないことから具体的な計画はない状況である。
- ・将来的な側溝整備には種々の課題があることから、当面は素掘り側溝の浚渫を行い維持管理に努める。

6. 卸センター内道路の冠水対策について

- ・平成28年度までに実施したかさ上げ工事により、幹線道路とサブ幹線道路の冠水対策は終了した。
- ・7月の集中豪雨の状況を見ると20cm程度の深い冠水箇所もあるため、今後も情報を共有し、対応を検討していきたい。

工場見学会の実施「トヨタ自動車東日本(株)岩手工場」

企業活性化委員会(橋本敦委員長/河内屋金物(株))では、優れた企業の仕事の仕方を学ぶことを目的とする工場見学会を7月10日(月)に開催し、組合員9社から17名が参加した。

今回はトヨタグループのコンパクトカー専門製造会社であるトヨタ自動車東日本(株)の岩手工場(岩手県金ヶ崎町)を見学させていただいた。

同工場には約2,500人の従業員が勤めており、「アクア」や「C-HR」といった車種を1日に約1,300台生産。各工程にロボットや自動搬送機が導入され、人に優しく効率的な生産ラインを実現している。また、「からくりマン認定制度」という現場の知恵と工夫を活かした改善活動に取り組んでおり、参加者から多くの関心が寄せられた。



トヨタのコンパクトSUV「C-HR」を囲んで

おもてなしフラワーロードのラベンダー刈り込み実施

7月10日(月)午後2時から、八戸市公園緑地課の要請により、卸センター西側を通る3・4・8号都市計画街路(おもてなしフラワーロード)の中央分離帯に植栽されているラベンダーの刈り込み作業が行われました。

炎天下ではありましたが、周辺企業・団体から多くの方が参加され、卸センターからも31社38名の方にご協力いただきました。ご協力ありがとうございました。



組合員情報 (株)岩岡

マネジメントゲームを通じ経営感覚を養う!

(株)岩岡(代表取締役 岩岡隆雄・従業員数23名)は、青森県南や岩手県北を営業エリアとして、スーパーマーケットや食品工場、外食産業向けに容器・包装資材、販促資材、厨房機材などの幅広い消耗品を供給している。卸センターには本社・倉庫があり、市内中心街の十八日町には一般客が小さい単位から気軽に利用できる小売店舗も構えている。

同社では平成24年から社員教育にマネジメントゲーム(※下記参照。以下MGと表記。)を活用している。毎年1月の第一土曜には全社員が参加するMG研修会を開催するほか、年間3~4回は任意に参加できる1~2日間のMG研修会を実施し、社員全員が年2回以上は参加する仕組み。(いずれも外部企業からの参加を随時受け入れている。)

平成16年に東京で開催されたMG研修に初めて参加して以来、通算300期以上を経験し、研修を指導できるインストラクター資格を取得した岩岡社長。MGを社員教育に取り入れた理由として、経営を疑似体験することで社員が会社の全体イメージを理解できるようになることを挙げ、結果として、一人ひとりが考えて行動し、それが自身のやりがいや成長につながることを期待している。また、業務を離れたところで、全員が同じ時間を共有することの価値も感じているという。

同社のMG研修は教え合い、学び合いの場として外部にも開放しているそうなので、一度体験してみたい方、興味のある方は右の連絡先まで、ぜひお問い合わせいただきたい。



マネジメントゲームの開催風景(in組合会館)



自社の業績を確認する経営者たち(プレーヤー)

※マネジメントゲーム(MG)とは

1976年に西順一郎氏がソニーの社員教育を目的として開発。プレーヤーは製造業の経営者となり、1テーブル6社(名)、2日間で5期分(1日コースは3期分)の経営を体験する。経営者はもちろん、幹部社員・一般社員・アルバイトスタッフまで楽しみながら経営を学ぶことができるツールとなっている。

MG研修会<今後の予定>

- ① 1日研修:平成30年1月6日(土)
- ② 2日研修:平成30年6月2日(土)~3日(日)

②はMG開発者の西順一郎氏も出席。

※会場は「卸センター組合会館」。

時間や費用等の詳細は下記まで。

<お問合せ先>

株式会社 岩岡 (はちのへMG研究会)

代表 岩岡 隆雄

本社:八戸市卸センター二丁目7-13

TEL 0178-29-3080 FAX 0178-29-3180

経営研究会 例会



(上)簡略化したルールでマネジメントゲームを体験

(左)自身も研修インストラクター資格をもつ(株)岩岡 取締役 岩岡 慎雄氏



経営研究会(高木昭寿会長/株共同物流サービス)は、9月29日(金)に例会を開催し、会員20名が参加した。

例会の勉強会では、会員の岩岡慎雄氏(株岩岡)が講師を務め、自社の社員教育に活用している「マネジメントゲーム」の概要について解説した。

岩岡氏は、マネジメントゲームは、①生きた経営学(好不況に無関係な経営の一般原理)を学べる、②生きた会計学(経営の効率化とバランス経営)を学べる、③経営者意識を養える、④会社の付加価値を増大させるために重要なことを優先し選択できる力が身に付く、⑤シミュレーション(経営模擬演習)により繰り返し体験学習できるといった特徴や利点に触れ、体験者の感想なども紹介した。

その後、参加者は実際にゲーム盤を使い、簡略ルールによるマネジメントゲームを体験し、「リスクカード」や「入札」といったイベントが発生するたび盛り上がりを見せた。

岩岡氏は結びに「25期やれば経理がわかる、50期やれば経営がわかる、75期やれば戦略がわかる、100期やれば人間が変わる」というマネジメントゲームのキャッチフレーズを紹介し、自社で開催する研修会への参加も呼びかけた。

会員からは、時間を作って研修に参加してみたい、もう少し深く体験してみたいといった声が寄せられた。

組合主催の教育研修

1 仕事の価値を高める！ コストの「見える化」セミナー

管理者・リーダーおよびその候補者を対象とする「仕事の価値を高めるコストの『見える化』セミナー」を7月12日(水)に開催し、8社から20名が受講した。

受講者は原価管理の必要性、コストの構成要素や変動要因について学習。演習を通じて「モノ」や「業務」のコストを実際に計算し把握する方法を学ぶとともに、その改善案についてグループ討議を行った。

神戸講師は、企業が利益を出し続けるためにコスト管理は必須であり、材料、設備、人、など資源(リソース)を金額に換算しコストを算出する『見える化』の技術により、まずコスト(インプット)を知ることが重要であると説明。

その上で、仕事の価値を向上させる方法はコストダウンのみではなく、品質や納期といった仕事の成果(アウトプット)を高めることでも価値向上を達成できる。インプットとアウトプットのバランスを取りながら、仕事の価値を高められるような改善案を考えて欲しいと語った。

自分の業務コスト(時間単価)を
計算する受講者



日常業務では、その業務の目的を常に意識し、時間配分(コスト配分)を心がけよう！

(右)講師：
産業能率大学 総合研究所
主任研究員 神戸 正志氏



2 女性活躍推進に向けた 職場づくりセミナー

平成28年4月1日から「女性活躍推進法」により、女性の活躍推進に向けた数値目標を盛り込んだ行動計画の策定・公表や、女性の職業選択に資する情報の公表が事業主(※)に義務付けられている。

こうした国の動きを受け、女性社員を部下に持つ管理者・リーダーを対象とする「女性活躍推進に向けた職場づくり」に関する半日セミナーを9月7日(木)に開催し、5社より9名が受講した。

受講者は初めに、「少子高齢化による労働力人口の減少」や「意欲や能力を持つ人に活躍の場を設けていないことによる機会損失」といった現在多様な人材を活かすことが求められている背景、また「年齢別の女性就業率」や「国別の女性管理職比率」といった日本の現状と課題について共有した。

佐藤講師はこうした職場を取り巻く環境変化を踏まえ、管理職層にはマネジメントにおいて部下の「働きやすさ」を整え、「働きがい」を引き出すことが期待されていると述べた。

受講者は「職場環境チェックシート」で自職場の現状と課題を整理した上で、誰もが働きやすい職場を運営するためのスキルについて学習した。

(※)常時雇用する労働者が300人以下の民間企業等にとっては努力義務。

女性が働きやすい職場を作ることが、性別、年齢、学歴、国籍、人種、雇用形態、勤務条件、価値観、ライフステージ、信条等々、個々の相違点を尊重し受容する、多様な人材が活躍できる職場への第一歩となります！



講師：
産業能率大学 総合研究所
兼任講師 佐藤 知央氏

受講者の声

1

仕事の価値を高める コストの「見える化」



中居食品容器(株)
専務取締役
中居 翔三 さん

材料を仕入れ、モノを作るまでの流れやそれにかかる細かなコストについて知識を深めることができた。

一日だけで何か変わるものではないが、この研修をきっかけとしてコスト意識を高めていきたい。

今後もモチベーションを高め、仕事への活力が生まれるような研修や勉強会を定期的に企画していただきたい。

2

女性活躍推進に 向けた職場づくり



プライフーズ(株)
営業本部主任
工藤 千秋 さん

女性が多い職場のため、みんなが生き生きと仕事をしていく為のヒントを得たいと思い受講した。

研修を通じ、既に実践できていること、今後の課題、職場で取り組むことが明確になった。

また、これまで意識しなかった“ワーク・ライフ・バランス”についても、環境の変化に伴い、従来の考え方や行動を改めていくことが必要だと認識できた。

3

生産性を高める
ミーティング術セミナー

会議・ミーティングの技術にスポットを当てた「生産性を高めるミーティング術セミナー」を10月5日(木)に開催し、8社から12名が受講した。

現在のビジネス環境は変化が激しく、スピードが求められる一方で価値観が多様化しており、組織の生き残りのためには「施策の質」と「実行力」を向上させることが重要である。このため、現場の情報を持ち、実行を担う現場メンバーの積極的な参画と協働を実現するファシリテーション(※)の技法が欠かせなくなっているという。

受講者は、「事前準備」「導入」「議論」「結論」「事後フォロー」という会議の流れに沿ってポイントとなる技術を学んだ。中でも、グループ演習の議論は白熱。体験したことのない状況下でどのような判断を下すかという課題に対し、個人ごとに考えた解答をベースに、グループ討議による合意形成と意思決定のプロセスを体験した。

金田講師は、未知の情報を含む問題状況を解決するためには、多様なメンバー間によるコミュニケーションを通じて集団の中にある多様な経験・知識を活用し、合意形成による意思決定を行うことが有効であると語った。

受講者からは、「会議に対する認識が変わり、気づきを多く得られた」、「参加者に発言してもらう技術は自社のミーティングに取り入れたい」といった感想が寄せられた。

(※)ファシリテーション：チームの目的・目標(ゴール)達成に向け、メンバーの活動と協働を支援すること。

より良い議論をする為の
ポイントについて発表



現在のビジネス環境は「VUCAワールド」
Volatility (不安定)
Uncertainty (不確実)
Complexity (複雑さ)
Ambiguity (曖昧さ)
と呼ばれ、将来の予測が困難な状態といえます。



講師：
産業能率大学 総合研究所
主任研究員 金田 良子 氏

4

2時間でわかる！
コーチングセミナー

10月5日(木)、仕事終わりの時間(18時~20時)を活用し試験的に開催した「2時間でわかる！コーチングセミナー」には6社から14名が参加した。

講師は、上記「ミーティング術セミナー」に引き続き、産業能率大学総合研究所 主任研究員の金田良子氏。

今回の研修では、メンバーの主体性を高め、やる気と能力を引き出すためのビジネスコーチングの3つのスキル(状況説明・発問・傾聴)について、事例を交えながら重点的に解説いただいた。

勤務時間外の短時間の講座であることや受講料を手頃

な価格に抑えたこともあって、個人で費用を負担して参加した方、組合員以外の企業から参加した方が、他の講座に比べ多くなった。

受講者からは、「指導する機会が増えていたのでちょうど良かった」、「新人教育に困っていたので役立てたい」、「仕事を頼む時、やる気を引き出す効果的な説明の仕方、ポイントを学べた」など肯定的な意見を多くいただいた。一方で、入門的なイメージで受講された方からは「もう少し時間をかけて学びたかった」という意見も頂戴した。

人材育成委員会(森越安雄委員長/有タクミライス)では、様々なご意見を参考に、今後の教育研修メニューを検討していく。

受講者の声

3

生産性を高める
ミーティング術

(株)共同電算センター
課長
佐々木 隆行 さん

普段の会議では「情報共有」にばかり注意を払っていたが、会議の「目標・ゴール」を意識することが重要だと気付いた。

演習を通じて、チームの意見を取りまとめ、合意形成によって意思決定することの難しさを痛感した。

今後、より活発な会議を行えるよう、「話をキチンと聴く」、「うまく問いかける」等、学んだことを実践していきたい。

4

2時間でわかる！
コーチング

佐々木塗料(株)
管理部
堀内 竜太郎 さん

先生の話が面白く分かりやすく、また明日からの仕事にすぐ活かせる内容だったので、2時間という短い時間ではあったが有意義な時間だった。

普段の仕事の中で、部下へ指示を出す時には、研修で学んだことを実践していきたい。

今回は、仕事の後の夕方からの研修だったが、参加して良かったと感じた。

交通安全街頭活動(夏・秋)実施

交通安全協会八戸卸センター支部では、夏の交通安全県民運動期間および秋の全国交通安全運動に合わせ、朝と夕方の街頭活動を実施した。7月21日(金)の夏の活動は朝12名・夕方56名、9月21日(木)の秋の活動は朝11名・夕方55名の方々にご参加・ご協力をいただいた。

会員参加による夕方の街頭活動では、卸センターの西口交差点2ヶ所と八食センター前の信号、下長保育園前の信号の合計



交通安全を呼びかける会員

3地点4ヶ所で行い、信号待ちのドライバーに粗品を配布し、交通ルールの遵守や正しい交通マナーの実践を呼び掛けた。

今年度は天候に恵まれ、春・夏・秋の街頭活動を全て予定通り実施した。

関係各位のご協力に感謝申し上げます。

会館前ロータリーの駐車禁止化

今年、組合会館前ロータリー内で接触事故が2件発生したことを受け、駐車スペースを明確にするとともにロータリー内は9月19日より駐車禁止とさせていただきました。合わせて、ロータリーの出入口を矢印表記により一方通行としております。

重大事故を未然に防ぐため、皆様のご理解とご協力をお願い致します。



ロータリー(会館屋上から撮影)

献血にご協力ありがとうございます

青森県赤十字血液センターの献血バスによる献血活動が9月7日(木)に実施され、38名の方に400ml献血のご協力をいただきました。また、骨髄登録は2名の方にご協力いただきました。ありがとうございました。

【参考-最近の献血状況】 (単位:人)

日にち	曜日	天気	受付	中止	採血	骨髄
H29.9.7	木	曇	45	7	38	2
H29.2.23	木	曇	30	4	26	3
H28.9.2	金	晴	34	7	27	3
H28.2.23	火	曇	39	7	32	5
H27.9.2	水	曇	48	4	44	-
H27.2.20	金	晴	31	1	30	7

代表者変更のお知らせ

■ 八戸液化ガス株式会社

新 代表取締役社長 平野 薫 氏
 新 代表取締役会長 大黒 裕明 氏
 (平成29年6月26日より)

団地内責任者の異動

■ フードテクノエンジニアリング株式会社

新 青森営業所所長 稲尾 誠一郎 氏
 前 青森営業所所長 重里 広幸 氏
 (平成29年11月1日より)

組合カレンダー (主な行事等)

日 時	行 事 名
1月11日(木)	組合役員会 (16時30分～) 組合新年会 (18時～) 於：八戸プラザホテル本館
1月24日(水) ～25日(木)	◆生産性向上支援訓練◆ 顧客分析手法～データを活用した 営業活動基礎セミナー～
2月1日(木) ～2日(金)	卸センター「わくわく交流会」 於：卸センター展示場
2月7日(水)	青森県による 集積区域整備事業運営診断
2月16日(金)	組合役員会 (10時30分～) 組合員昼食会 (12時～) 於：卸センター会議室
2月16日(金)	ワイン講座 (18時30分～) 於：八戸プラザホテル本館
2月20日(火) ～21日(水)	新規顧客開拓実践セミナー
2月22日(木)	「消費税軽減税率制度と補助金について」セミナー

編集後記



2016年の年間ベストセラー総合ランキングで2位(日販調べ)となり、シリーズ累計100万部を突破しているという絵本「おやすみロジャー」を最近になって必要に迫られ購入した。読み聞かせると、子どもがたった10分で寝てしまう…との触れ込みで、今のところ我が家でも子どもの寝かしつけに抜群の効果を発揮している。

この本は2010年にスウェーデンの行動科学者が自費出版したもので、その効果が話題となり欧米各国のアマゾンで総合1位を獲得。日本では飛鳥新社という出版社が翻訳本を2015年11月に発売した。編集者自身が「この本を世に出したい」と作品に強く惚れ込み、睡眠の専門家が翻訳を監修したこだわりの1冊。企画段階から100万部を目標にしていたと知り驚いた。

出版社が事前にお母さんのモニターを募り、読み聞かせによる子供の寝かしつけの様子を動画で撮影して公式特設ページに掲載。メディアに見つけてもらうための土壌を作っておいたことが功を奏し、その後多くのメディア露出に加え、インスタグラム中心にインターネット上の口コミも広がって大ヒットとなった。「商品力」は当然必要だが、「売り方」に“匂”を感じた。

編集責任者：協同組合八戸総合卸センター事務局
 担当 関本 祐幸

TEL:0178-28-0311 FAX:0178-20-5599